

服部病院だより

春号

—地域医療連携室便り—

2022 年 (令和 4 年) 4 月

地域医療連携室

0794-83-5327 (直通)

「基本理念」

私たちは、利用していただける方々に最善の医療を尽くすことに努めます。

「基本方針」

1. 地域住民の方との繋がりを大切にします。
2. 患者さんの人格を尊重しつつ、チームで安心・安全な医療の提供に努めます。
3. 予防・医療・介護との継続、かつ、透析医療においてリードする病院をめざします。
4. 医療の専門職として、継続学習と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
5. 職員が自主・自律の精神のもと、働きがいのある職場環境をつくれます。

子宮頸がんワクチンについて

婦人科の服部奈緒です。

今回は、子宮頸がんワクチンについてお話させていただきます。

子宮頸がんとは子宮の入り口、頸部にできるがんです。原因がはっきりわかっているがんは数少なく、100%ではないですが子宮頸がんのほとんどは Human Papillomavirus (ヒューマンパピローマウイルス) : HPV のハイリスクタイプの感染によって起こります。原因がわかり、予防のために子宮頸がんワクチンが作られ、世界的に接種が開始されたのは2007年からです。子宮がん検診の工夫を加え、世界的には子宮頸がん撲滅に向けて進んでいます。

さて日本はどうでしょうか。2013年からHPVワクチンは定期接種となり、12歳から16歳の女児に接種が可能となりました。接種率は一時70%を超えましたが、ワクチン接種後に報告された様々な症状の発生によりワクチン反対派がメディアで報道され、国も数か月でHPVワクチンの接種勧奨を中止しました。その後HPVワクチン接種と接種後に生じた症状との因果関係はあきらかではなく、HPVワクチン接種後に報告された症状はHPVワクチン接種歴がない人でも同様の症状が報告されていることが明らかになりました。そしてやっと2022年4月より個別の接種勧奨を順次実施することが進められています。また積極的接種勧奨が控えられた年に定期接種を受ける年齢で接種する機会を逃した対象者には、定期接種に準じた接種の機会が与えられることになっているようです。

世界保健機構WHOは、今世紀中に子宮頸がんを根絶できるという戦略を打ち出しています。

日本においては子宮頸がんについて、ワクチン接種について正しく理解し、接種を選択できるよう進むことがまずは第一歩です。

ご質問等がありましたらお気軽にご相談ください。



副院長 婦人科 服部 奈緒

着任の挨拶

本年1月より看護次長兼透析センター統括師長として勤務させていただくことになりました小柴隆史と申します。

前職では約20年間、透析医療・看護に携わり先輩や同僚、透析患者さんから多くのことを学びました。その間に日本看護協会認定の透析看護認定看護師資格を取得させていただき、看護実践はもちろんスタッフ教育や地域活動にも積極的に取り組んでまいりました。

多くの不安やストレスを抱える透析患者さんにとって良き理解者・相談相手になれるように、とにかく話しを“聴くこと”を大切にしてきました。また超高齢社会を迎え地域包括ケアシステムが推進される中、より良い透析生活が続けられるよう支援するために多職種連携の重要性を痛感しており、積極的に透析室の外に出て部署や職種、施設をまたいだ連携を意識してきました。

時代とともに価値観や人生観、死生観が多様化し、患者さんのニーズや看護師に求められる役割も変化しています。創立100年を目指す当院のスローガンにある「変えよう服部病院！変わろう服部病院！」を体現するために、過去の経験や知識にとらわれず柔軟に変化できるよう学び続けることと倫理的感性を磨くためのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。

最近読んだ本に、対話とは「人々の間を通って意味が流れている現象(状況)」であり、あるテーマについて人と人が向き合って話し合うこと、勝ち負けはなく新たな発見や創造に繋がる営みであると述べられていました。

これから多くの場面で皆さんとの“対話”を心掛け信頼関係の構築に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護次長兼透析センター統括師長 小柴 隆史



新入職員入社式



令和4年4月1日より 新入職員 医師1名、理学療法士1名、看護師8名、作業療法士1名、管理栄養士1名、看護助手1名が入職しました。

利用していただける方々に最善の医療を尽くすことに努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

栄養科の紹介



栄養科は、科長1名、管理栄養士4名、調理師9名、調理補助3名、パート6名の計23名が在籍しています。院内の直営の厨房で入院・外来透析の患者さん、通所リハビリテーションの利用者さん、当院職員の食事を調理・提供しています。当院では肉や魚の質にこだわっており、特に牛肉・鶏肉は地域の精肉店から新鮮なものを、魚は明石の卸売市場の鮮魚店から新鮮な生の魚を仕入れています。また行事食にも力を入れており、春には筍ご飯、夏には国産うなぎを使用したちらし寿司、秋には地域の秋祭りに合わせて鯖寿司、冬はおせち料理、クリスマスメニューなど…。患者さんに季節を感じて頂けるよう工夫をしています。当院は直営給食のため、患者さんのご意見を反映しやすく、リクエストから生まれたメニューもたくさんあり、ご好評をいただいています。食事は治療の一環ではありますが、今後も患者さんの「おいしい！」のために栄養科スタッフ全員で力を合わせて、日々努力をしていきます。

5階の厨房でお食事を作っています♪



うなちらし



服部病院 外来診療担当医表

診療科	診察受付時間		月	火	水	木	金	土
内 科	9:00~12:00	1 診	栗野孝次郎	長尾 学	津田勝路	那須正道	関田憲一	的場 俊
		2 診	小坂理恵子	那須正道	内山 奏	栗野孝次郎	小坂理恵子	上田智朗(第1・5) 菅真紀子(第3)
	13:00~17:00(予約)			那須正道 小坂理恵子	関田憲一 (腎臓専門外来)	栗野孝次郎		
	18:00~20:00		小坂理恵子		那須正道		関田憲一	
外科	9:00~12:00		服部哲也	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	三方彰喜	金澤成雄
	13:00~17:00					金澤成雄	金澤成雄	
	18:00~20:00		神戸大学	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	金澤成雄	
整形外科	午前	予約外来	楠 厳	楠 厳	松宮 豊	楠 厳	斯波卓哉	斯波卓哉 (予約・リハビリ外来)
		新患外来 リハビリ外来	楠 厳	楠 厳(第1) 斯波卓哉 (第2・3・4・5)	松宮 豊	斯波卓哉	楠 厳	尾ノ井勇磨 (新患外来)
	夜間	一般外来		楠 厳	抽冬晃司	斯波卓哉	藤原周一	
脳神経外科	9:00~11:00		藤原 潔	専門外来	藤原 潔	手 術	藤原 潔	
	15:00~17:00		藤原 潔	手 術	藤原 潔			
婦人科	9:30~12:00		服部奈緒	服部奈緒		服部奈緒	服部奈緒	服部奈緒
	14:00~17:00(予約)		服部奈緒			服部奈緒	服部奈緒	
泌尿器科	9:00~12:00		樋口彰宏					

・脳神経外科予約以外の方の受付は、9:00~11:00(初診・再診)、15:00~16:00(初診)、15:00~17:00(再診)になります。(令和4年4月現在)

・内科土曜2診は、上田医師(第1・5週)、菅医師(第3週)が担当します。

★担当医は変更になることがありますのでご了承ください。

★変更になる場合は、各科診療室前に掲示してありますのでご注意ください。

優芽いちご園 (ゆめいちごえん)

TEL: 090-1710-1583

住所: 三木市別所町西這田1丁目393-1

販売時間: 10時~完売まで

定休日: 不定休

<いちご狩り(40分要予約)>

- 大人 2,200円 ●小学生 1,700円、
- 3~5歳 1,200円 ●0~2歳 無料

 yumeichigoen

おいしいお店紹介



甘くてコクのあるいちご
人気なので、電話での取り置きをお勧めします

「紅ほっぺ」「章姫」
「おいCベリー」
を栽培



関連施設

三郎記念クリニック

■ 診療科目: 人工透析・内科(腎臓内科)

透析医療専門のクリニックです。経験豊富なスタッフがきめ細やかなサービスを提供します。

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1350-1
駐車場完備

TEL 079-423-2055 FAX 079-423-1256

服部病院診療科目

内科・腎臓内科・消化器内科・糖尿病内科・循環器内科・外科・心臓血管外科・
脳神経外科・整形外科・婦人科・泌尿器科・リハビリテーション科・放射線科・
人工透析(夜間透析あり)・麻酔科・24時間救急受入体制

医療法人社団 一陽会 服部病院

〒673-0413 兵庫県三木市大塚 218-3

TEL 0794-82-2550 FAX 0794-82-4399

ホームページ

服部病院 |

検索

http://www.hattori-hospital.com
(当誌は、ホームページでもご覧になれます。)